

指導と評価の年間計画(簿記①)

科目	簿記①	学年	2	指導クラス	2年 選択	
単位数	4	使用教科書	簿記(東京法令)	副教材・問題集等	完全段階式標準検定簿記問題集全商3級(東京法令)・全商簿記実務検定模擬問題集3級(実教出版)	

1. 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。

(3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応することができる。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	第I編 「簿記の基本」 第1章 「企業の簿記」	①簿記の意味 ②簿記の目的 ③簿記の種類 ④簿記の歴史 ⑤簿記の必要性 ⑥簿記の前提	3	簿記が、企業のさまざまな経営活動を帳簿に記録・計算・整理するための記帳技術であることについて学習する。 ●企業は簿記によって経営成績と財政状態を明らかにする必要があることについて学習する。 ●簿記の種類や歴史・必要性のほか、企業会計の基礎をなす3つの前提についても学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト	○	○	○
	第2章 「資産・負債・純資産 — 貸借対照表 —」	①資産 ②負債 ③純資産 ④貸借対照表 ⑤当期純損益の計算	3	●資産・負債・純資産の基本的な概念やその関係性、およびおこな資産・負債・純資産の例について学習する。 ●貸借対照表の役割や構造、および期末と期首の純資産を比較して当期純損益を計算する方法について学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト	○	○	○
	第3章 「収益・費用 — 損益計算書 —」	①収益 ②費用 ③当期純損益の計算 ④損益計算書	2	収益・費用の基本的な概念やその関係性、およびおこな収益・費用の例について学習する。 ●収益と費用を比較して当期純損益を計算する方法、および損益計算書の役割や構造について学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト	○	○	○
	第4章 「取引と勘定」	①取引の意味 ②勘定の意味 ③勘定の種類と勘定科目 ④勘定口座 ⑤勘定への記入法 ⑥取引要素の結合関係 ⑦貸借平均の原理	2	●資産・負債・純資産を増減させたり、収益・費用を発生させたりすることがらである簿記上の取引について学習する。 ●勘定や勘定科目・勘定口座の意味、および勘定への記入方法について学習する。 ●取引は、借方の取引要素と貸方の取引要素の組み合わせからなっていることについて学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト	○	○	○

				●すべての勘定の借方合計金額と貸方合計金額は一致することについて学習する。				
	第5章 「仕訳と勘定への記入」	①仕訳 ②転記	2	●一定のルールにしたがって取引を借方の要素と貸方の要素に分けることである仕訳の意味とその方法について学習する。 ●仕訳によって区分された取引を整理するために、勘定口座に転記する方法について学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○
5	第6章 「仕訳帳と総勘定元帳」	①仕訳帳 ②総勘定元帳(元帳)	2	●仕訳を取引の発生順に記録する帳簿である仕訳帳について学習する。 ●すべての勘定口座を集めた帳簿である総勘定元帳について学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○
	第7章 「試算表」	①試算表の意味 ②試算表の種類と作成方法 ③試算表で誤りを発見する方法	4	●転記が正確におこなわれたかどうかを確認するために作成する試算表について、合計試算表・残高試算表・合計残高試算表の3つを学習する。 ●試算表で誤りを発見する方法を学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○
	第8章 「決算」	①決算の意味 ②決算の手続き ③精算表 ④決算の本手続き ⑤決算報告の手続き	8	●決算に関する基礎的な知識や、一連の決算の流れについて学習する。 ●一連の決算の手続きに必要な知識である、6けた精算表の作成方法、総勘定元帳・仕訳帳を締め切る方法、繰越試算表の作成方法、損益計算書および貸借対照表の作成方法について学習する。 ●設例および会話形式の文章を用いて、なぜ貸借対照表が英語で「バランスシート」と表現されるのかについて調べたうえで、主体的に考察し、表現する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○
6	第Ⅱ編 「各種取引の処理」 第1章 「現金・預金の記帳」	①現金 ②現金出納帳 ③現金過不足 ④当座預金 ⑤当座借越 ⑥当座預金出納帳 ⑦その他の預金 ⑧小口現金	6	●簿記上の現金の入金と出金の仕訳、現金出納帳の作成方法、および現金過不足の記帳方法について学習する。 ●当座預金の預入と引出の仕訳、当座借越の記帳方法、当座預金出納帳の作成方法、およびその他の預金に関する仕訳について学習する。 ●定額資金前渡法の意味や小口現金の仕訳、小口現金出納帳の作成方法を学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○
	第2章 「商品売上の記帳」	①3分法 ②仕入帳 ③売上帳 ④商品有高帳	6	●3分法における商品の仕入れと売上げの仕訳、商品の返品や値引きの記帳方法、および仕入帳・売上帳・商品有高帳の作成方法について学習する。 ●商品の引渡単価の計算方法として、先入先出法と移動平均法について学習する。 ●設例を用いて、商品の単価の計算について、どのような商品を扱う企業が先入先出法を用い、またどのような商品を扱う企業が移動平均法を用いているかを主体的に考察し、表現する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト 確認テスト		○	○
7	第3章 「掛取引の記帳」	①売掛金勘定と売掛金元帳 ②買掛金勘定と買掛金元帳 ③貸し倒れ	9	●売掛金に関する仕訳、売掛金勘定および売掛金元帳の記入方法とその関係について学習する。 ●買掛金に関する仕訳、買掛金勘定および買掛金元帳の記入方法とその関係について学習する。 ●貸し倒れの意味および貸し倒れが生じた場合の仕訳について学習する。	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○

	第5章 「その他の債権・債務の記帳」	①前払金と前受金 ②未収金と未払金 ③貸付金と借入金 ⑤立替金と預り金 ⑥仮払金と仮受金 ⑦商品券	7	<ul style="list-style-type: none"> ●前払金、前受金に関する仕訳について学習する。 ●未収金、未払金に関する仕訳について学習する。 ●貸付金、借入金に関する仕訳について学習する。 ●立替金、預り金に関する仕訳について学習する。 ●仮払金、仮受金に関する仕訳について学習する。 ●商品券の記帳方法について学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
8・9	第7章 「固定資産の記帳」	①固定資産 ②固定資産の取得 ③固定資産台帳	5	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産の意味とその種類について学習する。 ●固定資産台帳の概要について学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
	第8章 「販売費と一般管理費の記帳」	①販売費と一般管理費 ②販売費と一般管理費の記帳	5	<ul style="list-style-type: none"> ●販売費と一般管理費の意味とその具体例について学習する。 ●販売費と一般管理費に関する個別の勘定をまとめて販売費及び一般管理費勘定で処理する方法について学習する。 ●販売費及び一般管理費元帳の作成方法について学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
	第9章 「個人企業の純資産の記帳」	①個人企業の純資産 ②追加元入れと引き出し	6	<ul style="list-style-type: none"> ●個人企業の純資産を増加・減少させる取引の仕訳について学習する。 ●引出金勘定を設けた場合の、個人企業の資本の引き出しの処理について学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
10	10章「個人企業の税金の記帳」	①個人企業の税金 ②所得税・住民税 ③固定資産税・印紙税 ④消費税	8	<ul style="list-style-type: none"> ●個人企業における所得税・住民税の概要と、所得税・住民税に関する仕訳について学習する。 ●個人企業における固定資産税・印紙税の概要と、固定資産税・印紙税に関する仕訳について学習する。 ●個人企業における消費税の概要と、消費税に関する仕訳について学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
	第Ⅲ編 「決算(1)」 第1章 「決算整理(その1)」	①決算整理の意味 ②商品に関する決算整理 ③貸し倒れ ④固定資産の減価償却費の計算と記帳 ⑤現金過不足の整理	8	<ul style="list-style-type: none"> ●決算整理の意味について学習し、売上原価の算定・貸し倒れの見積り・固定資産の減価償却費の計算と記帳(定額法および直接法)・現金過不足の整理に関する決算整理仕訳についても学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
11	第1章 「決算整理(その1)」	⑥引出金の整理 ⑦棚卸表 ⑧8けた精算表の作成 ⑨帳簿の締め切り(帳簿決算) ⑩財務諸表	7	<ul style="list-style-type: none"> ●引出金の整理に関する決算整理仕訳についても学習する。 ●決算の予備手続きとして、棚卸表および8けた精算表の作成方法について学習する。 ●決算の本手続きとして、各種帳簿を締め切る方法や、繰越試算表の作成方法、また決算報告の手続きとして、勘定式の貸借対照表および損益計算書の作成方法について学習し、資料をもとに財務諸表を作成する学習活動に取り組む。 ●設例を用いて、損益勘定と損益計算書、繰越試算表と貸借対照表のちがいについて主体的に話し合い、表現する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○
	第Ⅳ編 「会計帳簿」	①帳簿の種類 ②分課制度と帳簿組織 ③帳簿の形式	7	<ul style="list-style-type: none"> ●主要簿と補助簿の種類とそれぞれの帳簿の関係について学習する。 ●企業の分課制度と帳簿組織、および帳簿の形式 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト		○	○	○

	第 1 章 「帳簿」			について学習する。	確認テスト	○		
12	第 2 章 「 3 伝 票 制 に よ る 記 帳 」	①証ひょう ②伝票 ③仕訳伝票の利用 ④ 3 伝票制	14	<ul style="list-style-type: none"> ●証ひょうや伝票の意味、仕訳伝票の利用、3 伝票制の概要、および入金伝票・出金伝票・振替伝票のそれぞれの起票方法について学習する。。 ●設例を用いて、実務において 1 伝票制が多く採用されている理由について主体的に考察し、表現する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト	○ ○ ○	○ ○	○ ○
1	第 4 章 「 手 形 取 引 の 記 帳 」	①手形の種類 ②約束手形の記帳 ③手形の裏書と割引 ④受取手形記入帳と支払手形記入帳 ⑤手形貸付金と手形借入金	12	<ul style="list-style-type: none"> ●手形の種類とそのしくみ、約束手形の振出人がおこなう仕訳、および名あて人がおこなう仕訳について学習する。 ●手形の裏書および割引に関する仕訳について学習する。 ●受取手形記入帳・支払手形記入帳の作成方法について学習する。 ●手形貸付金および手形借入金に関する仕訳について学習する。。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト 検定試験	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○
2 ・ 3	第 6 章 「 有 価 証 券 の 記 帳 」	①有価証券 ②有価証券の買い入れ ③有価証券の売却	14	<ul style="list-style-type: none"> ●株式や社債・公債といった有価証券の意味とその種類について学習する。。 ●有価証券の買い入れと売却に関する仕訳について学習する。 	行動観察 レポート 問題集 単元テスト 確認テスト	○ ○ ○	○ ○	○ ○
			140					